

海外視野にグローバル戦略

松阪市大口町の三重化学工業(株)(山川大輔代表取締役社長)は、「グローバルカンパニーへの挑戦」という中期ビジョンを掲げ、海外展開を本格化していく。

タイとシンガポールで交互に開催されている医療分野の大型展示会「メディカルフェア・アジア」に3年連続で出展。新たに出合った海外企業との取引も始まった。

今年は医療分野にとどまらず、介護分野にも視野を広げ、チャイナ・エイド2026(中国)にも出展する。

また、同社をはじめ松



三重化学工業株式会社(大口町)

高品質の耐切創手袋を開発



阪市内の医療機器メーカー6社でつくるMMM(松阪メディカルメンバーズ)は、東京の三重テラスで展示会を行うなど、活動の幅をどんどん広げている。昨年は6社のMMM担当メンバーで海外市場の視察に赴いた。「松阪エリアから全国へ、さらに海

外へ向けて活動の場を広げていきたい」と山川社長(48)は意欲を燃やす。
一方、同社は昨年、高品質の耐切創(たいせつそう)背抜き手袋とアームカバーを開発、業界でも注目を集めた。海外戦略も視野に入れての新商品だ。

昨年9月にタイ・バンコクで開かれたメディカルフェアの三重化学工業のブース



会社
Memo

これらの商品は、鋼材やガラスなどを扱う工場や建設現場での切創事故を防ぐためのプロ仕様で、カッターナイフやはさみでも切れにくい布でできている。ステンレス繊維や竹由来のレーヨン糸を織り込むことで、高い耐切創レベルと、しなやかで柔らかい使い心地を共に実現した。

手袋は「雷牙(らいが)」と「風牙(ふうが)」。耐切創アームカバー「空牙(くうが)」は長さが40センチと30センチの2種類ある。

70期テーマは「Let's cross border 2.0.(境界を超え、未来を創る)」。①シン加速②シン投資③シン挑戦の行動指針の下、さらに躍進する。

1956(昭和31)年創業。作業用手袋、保冷剤、医療機器、フェムテック商品などを製造販売。経産省の「地域未来牽引企業」、「みえのおもてなし経営企業選」などに選定されている。